

西つがる3市町再生可能エネルギー導入計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果について

1. 実施概要

募集期間

令和5年3月17日（金）～令和5年3月28日（火）

資料の閲覧場所

- ・市ホームページ
- ・つがる市役所地域創生課

応募方法

- ・郵送
- ・ファックス
- ・Eメール
- ・持参

2. 募集結果

意見件数

5件（意見提出者 1名）

No.	意見の内容	市の考え方・意見の取扱
1	P P A事業者は、単に市外事業者に任せてしまうより、地域エネルギー事業者と同様に、実績ある事業者からノウハウを得て将来的に地元企業ができるようになるよう取り組む必要があると考えます（当初は実績業者と地元業者・自治体による共同出資で設立し長期的に地元業者のみの出資会社を目指す等）。	P P A事業は、導入した再生可能エネルギーを地域内で活用するためのスキームの一つとして具体的な検討を進めていく予定です。いただいたご意見を踏まえて、地域内の資源循環をより促せるようなP P A活用の在り方について検討を進めてまいります。
2	P 4 3・4 4の陸上・洋上風力発電導入において、施策による効果が「基金による地域課題等への資金拠出」とあるところ、実際にはP 4 6の内容に限定化されているようにも見えます。例えばP 4 6のつがる市のメロン水耕栽培機器導入の費用対効果の公表など、設定される地域課題の決定方法やその評価方法も考慮されるべきと考えます。	P 4 6は地域内の基金化の実例であり、P 4 3及びP 4 4で掲げる「基金による地域課題等への資金拠出」の内容を限定するものではありません。本計画は2050年のカーボンニュートラルの実現と共に地域内の課題解決や活性化を目指すものであり、地域課題の設定や評価の方法については基金に関する検討事項の一つといたします。
3	P 5 2バイオマス発電においては、バイオマス原料の水分・カロリー調査（燃焼効率に影響、場合によって助燃剤が必要になるなど）、原料の運送費用負担（3市町が広範であるため）、設備のメンテナンス費用見込みとその財源、それらを踏まえた設備投資回収計画を十分に検討する必要があると考えます。	貴重なご意見ありがとうございます。今後の基礎調査や方針検討を進める中で、いただいたご意見を参考とさせていただきます。
4	P 6 3の農業ハウスへの温泉熱活用拡大の実現に向けたポイントが農業者による積極的投資だけでは実現しないと考えます。基金からの投資費用一部拠出等を検討すべきと考えます。	ご指摘ありがとうございます。実現に向けたポイントである「農業者による積極的投資」は一つの要素として挙げています。前提として事業への理解や参画意欲を醸成することも必要と考えます。また、施策実現の資金調達については、P 7 7の事業スキームにあるように、基金等を活用して投資資金の一部を支援することなども考えられます。
5	8. が、目次では「計画の推進体制」とありますが、P 9 5では「計画の実施体制」となっています。	ご指摘に基づき、目次の題目を「計画の実施体制」に修正いたします。